

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 北陸財務局長 |
| 【提出日】 | 2020年5月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第21期第1四半期（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社歯愛メディカル |
| 【英訳名】 | C.I. MEDICAL CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 清水 清人 |
| 【本店の所在の場所】 | 石川県白山市鹿島町一号9番地1 |
| 【電話番号】 | 076-278-8802（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営管理部長 三好 誠治 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 石川県白山市旭丘二丁目6番地 |
| 【電話番号】 | 076-278-8802（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営管理部長 三好 誠治 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第20期 第1四半期 連結累計期間 | 第21期 第1四半期 連結累計期間 | 第20期 |
|----------------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| 会計期間 | 自2019年1月1日 至2019年3月31日 | 自2020年1月1日 至2020年3月31日 | 自2019年1月1日 至2019年12月31日 |
| 売上高 (百万円) | 6,778 | 8,280 | 28,763 |
| 経常利益 (百万円) | 534 | 786 | 2,141 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円) | 382 | 485 | 1,505 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (百万円) | 354 | 486 | 1,519 |
| 純資産額 (百万円) | 9,779 | 11,279 | 10,943 |
| 総資産額 (百万円) | 12,352 | 14,658 | 13,904 |
| 1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | 38.28 | 48.51 | 150.56 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 79.2 | 76.9 | 78.7 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、経済活動が抑制されており、急速に減速しております。日本経済も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済活動の自粛が広く要請されており、厳しい状況となっております。

このような経済状況の中、歯科関連業界におきましては、前連結会計年度までは歯科医療費が引き続き増加傾向にあるなど、国内歯科関連業界全体の事業環境は緩やかな回復が見られておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により先行きは不透明な状況となっております。

当社グループにつきましては主力の通信販売事業を中心に、新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界への参入拡大を進めると共に、動物病院等へも大型医療機器（デジタルレントゲン医療機器等）を販売し確実に実績を積み重ねております。2020年3月より幼稚園・保育園向け通販を開始し、新型コロナウイルスの感染拡大による感染予防意識の高まりから、事業開始より登録顧客数は順調に増加しております。

その他の事業については、CAD/CAM歯科技工物製作事業、歯科医院等の医療機関取引先向け電力小売取次事業「Ci電たる」等においても経営成績は順調に推移いたしました。エネルギー関連サービス事業では、東京ガスの都市ガス供給エリア内にある歯科医院・技工所向けに、東京ガスの取次業者として都市ガス小売サービス「Ciガス Supplied by 東京ガス」の供給を開始しております。

このような状況の中、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当社においてはマスク、手指消毒剤等の感染対策商品の注文が急増したことで、出荷作業ならびに配送の遅延が発生しましたが、感染対策商品の需要拡大により当第1四半期連結累計期間における売上高を押し上げるという結果をもたらしました。

以上のような背景のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は82億80百万円（前期比22.1%増）、営業利益は7億66百万円（同46.9%増）、経常利益は7億86百万円（同47.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億85百万円（同26.7%増）となりました。

事業内容別の業績は次のとおりであります。

（通信販売事業）

通信販売事業につきましては、主力の歯科医院向け通信販売を中心に感染対策商品の需要拡大により販売が増加したこと及び個人医院・総合病院等の医科業界向け、福祉介護施設向け、ならびに動物病院向け販売の拡大を進めたことにより、通販事業売上高は79億63百万円（前期比22.6%増）、売上総利益は22億2百万円（同31.2%増）となりました。

（その他の事業）

その他の事業につきましては、CAD/CAM歯科技工物製作事業の業績が堅調に推移し、歯科医院等の医療機関取引先向け電力小売取次事業「Ci電たる」等も順調に拡大したことから、その他事業の売上高は3億16百万円（前期比11.2%増）、売上総利益は1億86百万円（同16.7%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7億84百万円増加(7.0%増)し120億8百万円となりました。これは主として、現金及び預金が7億69百万円、受取手形及び売掛金が5億8百万円増加したこと及び、商品及び製品が3億59百万円、未収入金が1億22百万円減少したことによるものであります。

固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ30百万円減少(1.1%減)し26億49百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具が13百万円、ソフトウェアが20百万円、繰延税金資産が13百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4億18百万円増加(16.4%増)し29億75百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が2億86百万円、未払金が81百万円増加したこと及び未払法人税等が1億40百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加(0.1%増)し4億4百万円となりました。これは預り保証金が0百万円増加したことによるものであります。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ3億35百万円増加(3.1%増)し112億79百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益4億85百万円及び剰余金の配当1億50百万円によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

なお、当社は財務及び事業の方針の決定を支配する者の在り方に関する基本方針を定めており、その内容等(会社法施行規則第118条第3号に掲げる事項)は次のとおりであります。

当社は、財務及び事業の方針の決定を支配する者は、安定的な成長を目指し、企業価値の極大化・株主共同の利益の増強に経営資源の集中を図るべきと考えております。

現時点では特別な買収防衛策は導入いたしておりませんが、今後も引き続き社会情勢等の変化を注視しつつ弾力的な検討を行ってまいります。

(5) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間において研究開発に使用した額は2百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 40,000,000 |
| 計 | 40,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年5月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|------------|
| 普通株式 | 10,000,000 | 10,000,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 10,000,000 | 10,000,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増 減額 (百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 2020年1月1日～ 2020年3月31日 | - | 10,000,000 | - | 10 | - | - |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | - | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 9,998,500 | 99,985 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,500 | - | - |
| 発行済株式総数 | 10,000,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 99,985 | - |

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|-------------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,449,343 | 3,219,134 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,802,949 | 2,311,422 |
| 商品及び製品 | 5,371,181 | 5,011,982 |
| 原材料及び貯蔵品 | 21,491 | 12,644 |
| 前渡金 | 423,825 | 420,040 |
| 未収入金 | 1,112,087 | 990,029 |
| その他 | 49,773 | 52,407 |
| 貸倒引当金 | 6,192 | 8,863 |
| 流動資産合計 | 11,224,460 | 12,008,797 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 600,559 | 590,382 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 371,049 | 357,176 |
| 土地 | 513,432 | 513,432 |
| その他(純額) | 98,475 | 99,031 |
| 有形固定資産合計 | 1,583,517 | 1,560,023 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 306,809 | 286,172 |
| その他 | 152,675 | 154,279 |
| 無形固定資産合計 | 459,484 | 440,451 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 349,710 | 338,499 |
| 繰延税金資産 | 243,395 | 230,273 |
| その他 | 44,763 | 81,418 |
| 貸倒引当金 | 987 | 987 |
| 投資その他の資産合計 | 636,881 | 649,202 |
| 固定資産合計 | 2,679,883 | 2,649,677 |
| 資産合計 | 13,904,344 | 14,658,475 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,030,472 | 1,316,673 |
| 未払金 | 882,067 | 963,797 |
| 未払法人税等 | 383,054 | 242,971 |
| 賞与引当金 | 7,060 | 30,489 |
| その他 | 254,184 | 421,072 |
| 流動負債合計 | 2,556,839 | 2,975,004 |
| 固定負債 | | |
| 預り保証金 | 403,920 | 404,280 |
| 固定負債合計 | 403,920 | 404,280 |
| 負債合計 | 2,960,759 | 3,379,284 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,000 | 10,000 |
| 利益剰余金 | 11,002,855 | 11,337,315 |
| 自己株式 | 126 | 126 |
| 株主資本合計 | 11,012,729 | 11,347,188 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 69,144 | 67,997 |
| その他の包括利益累計額合計 | 69,144 | 67,997 |
| 純資産合計 | 10,943,584 | 11,279,191 |
| 負債純資産合計 | 13,904,344 | 14,658,475 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 6,778,715 | 8,280,031 |
| 売上原価 | 4,939,346 | 5,890,527 |
| 売上総利益 | 1,839,368 | 2,389,503 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,317,807 | 1,623,380 |
| 営業利益 | 521,560 | 766,122 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,082 | 6,711 |
| 補助金収入 | 3,370 | 4,465 |
| その他 | 3,041 | 9,039 |
| 営業外収益合計 | 14,494 | 20,216 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 1,624 | - |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 1,624 | 0 |
| 経常利益 | 534,429 | 786,338 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券償還損 | - | 38,658 |
| その他 | - | 43 |
| 特別損失合計 | - | 38,701 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 534,429 | 747,637 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 149,358 | 250,053 |
| 法人税等調整額 | 2,248 | 12,524 |
| 法人税等合計 | 151,607 | 262,578 |
| 四半期純利益 | 382,822 | 485,058 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 382,822 | 485,058 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 382,822 | 485,058 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 27,939 | 1,147 |
| その他の包括利益合計 | 27,939 | 1,147 |
| 四半期包括利益 | 354,882 | 486,205 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 354,882 | 486,205 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当座貸越契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行2行と当座貸越契約を締結しております。
この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|------------|--------------------------|------------------------------|
| 当座貸越極度額の総額 | 1,500,000千円 | 1,500,000千円 |
| 借入実行残高 | - | - |
| 差引額 | 1,500,000 | 1,500,000 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 62,352千円 | 62,304千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年3月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2019年3月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 133,000 | 13.30 | 2018年12月31日 | 2019年3月29日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年3月31日)

1. 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2020年3月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 150,599 | 15.06 | 2019年12月31日 | 2020年3月27日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、主に歯科関連商品を扱う通信販売事業を中心とした事業活動を展開しておりますが、事業セグメントを集約した結果、報告すべきセグメントは通信販売事業のみであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) |
|-------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 38円28銭 | 48円51銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 382,822 | 485,058 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 382,822 | 485,058 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 10,000,000 | 9,999,951 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月11日

株式会社歯愛メディカル
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 鹿島 高弘 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 梅谷 哲史 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社歯愛メディカルの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社歯愛メディカル及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。